



神奈川県立近代美術館 葉山では、2014年9月27日(土)から2015年1月12日(月・祝)まで「東欧アニメをめぐる旅 ポーランド・チェコ・クロアチア」展を開催します。本展覧会に関連して「アニメの楽しさ・豊かさ」をテーマに、アニメーション制作の現場で活躍するクリエイターや研究者の方々を講師にお招きして全5回の連続講演会を開催します。

「チェコ・アニメーションと音楽」※日本語への逐次通訳あり

講師：ジャン・ガスパール・パーレニーチェク（パリ・チェコセンター副館長）

1978年、プラハ生まれ。散文作家、劇作家にして俳優でもある。プラハ、オルフェウス劇団において俳優として活動後、フランス、パリのチェコ・センターの芸術監督に就任し、チェコ文化を紹介する様々な展示やイベントを手がける。「ラ・ロシェル国際映画フェスティバル2014」には、その年のテーマのひとつチェコ・アニメーションの部門の監修として招かれた。

講師：ヴァーツラフ・トロヤン（同名の作曲家・ピアニストであるヴァーツラフ・トロヤンの子息）

1945年生まれ。チェコ・テレビなどで音楽の仕事に携わる。同姓同名の父親は、チェコの民族音楽に着想を得ながら『真夏の夜の夢』（1959年）をはじめとするイジー・トゥルンカのアニメーションの音楽を担当して、トゥルンカ作品の国際的な評価に寄与した。幼い頃、父トロヤンとトゥルンカが協力して創作する姿を目の当たりにしていた。

「立体（人形）アニメーションの考え方」

むらた ともやす

講師：村田朋泰（アニメーション作家、女子美術大学准教授）

1974年、東京都生まれ。東京芸術大学大学院デザイン科専攻攻進達造形修了。チェコの人形アニメーションに影響を受け、在学中に短編『睡蓮の人』（2000年）を制作。同作が第5回文化庁メディア芸術祭アニメーション部門の優秀作を受賞。2002年に有限会社TOMOYASU MURATA COMPANY. を設立。代表作に『朱の路』（2002年）をはじめとする「路」シリーズや「森のレシオ」シリーズ（2009年-）がある。目黒区美術館（2006年）、平塚市美術館（2008年）で個展を開催する他、グループ展にも多数参加。CMやミュージシャンのPV制作も手掛け、絵画や漫画等多方面で活躍している。

「東欧のコマ撮りアニメーションの魅力」

みねぎし ひろかず

講師：峰岸裕和（ストップモーション・アニメーター）

1955年、栃木県生まれ。東京デザイナー学院アニメーション科を卒業後、岡本忠成の作品制作にアニメーター助手として参加。その後、日本を代表する人形アニメーション作家である川本喜八郎に師事し、『道成寺』（1976年）、『いばら姫またはねむり姫』（1990年）等の制作に携わる。1998年からはNHKキャラクター「どーもくん」シリーズのアニメーションを担当。コマ撮りアニメーション「こまねこ」シリーズや「まくまくん」シリーズ等、合田経郎監督とのコンビによる作品多数。またCMのアニメーションも数多く手掛けている。

「かわいい・こわい ザグレブ派アニメーションの世界」

こしむら いさお

講師：越村勲（東京造形大学教授）

1953年、富山県生まれ。ザグレブ大学修士、一橋大学博士。千葉大学助手などを経て現職。専攻はクロアチアなど東欧の社会文化史。境界地域での多文化共生や、アニメーション・映画と社会の関係を研究テーマとしている。バルカンの大家族制に関する論文や、著書『映画「アンダーグラウンド」を観ましたか?』（共著、彩流社、2004年）、『クロアチアのアニメーション～人々の歴史と心の映し絵』（彩流社、2010年）など多数。またクロアチア史の英雄を映像化した『ストヤン～境界の英雄』や『ウスコク～キリスト教世界の英雄』をプロデュースした。

「HU + ANIM（フ・アニメ）ーハンガリーで開花したアニメーション文化と現状」

いたはし はるこ

講師：板橋晴子（ハンガリー・アニメーション研究者、イラストレーター〈なほちかはるこ〉）

1986年、大阪府生まれ。大阪外国語大学（現大阪大学外国語学部）ハンガリー語専攻卒業後、ハンガリー政府奨学金によりブダペストのモホイ・ナジ芸術大学に留学、ケチケメート・スタジオでドローイング・アニメーションを学ぶ。「なほちかはるこ」の名前でイラスト及び切り絵を制作。『ニュー・エクスプレスハンガリー語』（白水社、2011年）、『イタリア語発音トレーニング』（白水社、2012年）などのイラストを手がける一方、各地でアニメーション上映会を開催。若手アニメーション作家支援プロジェクト「HAG（ハンドメイド・アニメーション・グランプリ）」（2014年）でグランプリ受賞。

【第1回】
10月18日（土）
午後2時～4時

終了しました。

【第2回】
11月1日（土）
午後2時～4時

終了しました。

【第3回】
11月15日（土）
午後2時～4時

【第4回】
12月6日（土）
午後2時～4時

【第5回】
12月20日（土）
午後2時～4時

2014年度 県立機関活用講座 「アニメの楽しさ・豊かさ」 FAX申込用紙

場所：神奈川県立近代美術館 葉山 講堂

定員：各回70名（申込先着順受付）

受講料：各回1,000円（任意の回数で申込み可）

申込方法：受講希望日、氏名、住所、電話番号、FAX番号、メールアドレスをお書きの上、FAX、往復はがき、当館ホームページより「近代美術館への問合せ」フォームのいずれかでお申込みください。

※特に、フォームでお申込みの際は、希望日のご入力漏れにご注意ください。

申込締切：各回とも定員に達し次第締切

申込先：〒240-0111 三浦郡葉山町一色2208-1

神奈川県立近代美術館 管理課

「県立機関活用講座」係

FAX. 046-875-2574 ※ファクシミリの誤送信にご注意ください。

お問い合わせ先：神奈川県立近代美術館 葉山 TEL.046-875-2800

※受講料は受講日ごとに、会場受付にて現金でお支払いください。

※全5回のうち、4回以上受講した方は修了証を差し上げます。

お名前(ふりがな)

ご希望の回に○をつけて切り取らずにFAXでお送りください。

第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
10/18	11/1	11/15	12/6	12/20

ご住所 〒

電話番号

FAX番号

メールアドレス

参加希望人数

同伴者のお名前(ふりがな)

「東欧アニメをめぐる旅 ポーランド・チェコ・クロアチア」

2014年9月27日（土） - 2015年1月12日（月・祝）

■休館日

月曜日（ただし10月13日、11月3日、11月24日、1月12日は開館）

12月29日（月）～1月3日（土）

■開館時間

午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）

■観覧料

一般 1,000円（団体900円）

20歳未満・学生 850円（団体750円）

65歳以上 500円

高校生 100円

- ・団体料金は20名様以上から適用されます。
- ・中学生以下、障害者手帳をお持ちの方は無料です。
- ・その他の割引につきましてはお問い合わせください。

■「ファミリー・コミュニケーションの日」

毎月第1日曜日（今回は10月5日、11月2日、12月7日、1月4日）は、

18歳未満のお子様連れのご家族は、優待料金（65歳以上の方を除く）でご観覧いただけます。

■無料開館日

11月3日（月・祝）「文化の日」は、神奈川県立近代美術館で開催中の3つの展覧会を無料でご観覧いただけます。



クジシュトフ・ブジョフスキ監督/他『フラッパーと友達』(2013年)

お問い合わせ先

〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色2208-1
TEL：046-875-2800 <http://www.moma.pref.kanagawa.jp>

神奈川県立近代美術館 葉山

The Museum of Modern Art, Hayama

